



## 電子端末と子どもたち

校長 石原 淳

日本のスマートフォン市場において約 50% のシェアを誇る電子端末 iPhone。生みの親は、かの有名な Apple 社を創設した故スティーブ・ジョブズ氏です。平成 23 年に亡くなったジョブズ氏には数々の逸話があり、これまでに何冊も本が書かれ、映画も作られてきました。

あまり知られていないようですが、ジョブズ氏は仕事で最先端のハイテク機器を扱っているにもかかわらず、親としてはローテクを貫き、子どもたちの電子端末の利用を厳しく制限すべきだと固く信じていました。実際、彼の 5 人の子どもたちは、両親が厳しすぎる、友達の家にはこんなに厳しいルールはない、とよく抗議をしていたそうです。しかし、ジョブズ氏は、毎晩、キッチン長いテーブルで夕食をとり、本や歴史や様々なトピックについて話し合うなど、電子端末の画面を見つめる時間よりも家族同士が面と向かって話し合う時間を大切にしていたという記録が残っています。

なぜ、ジョブズ氏はそれ程までに子どもたちの電子端末の利用を制限したのでしょうか。一説によれば、彼が最も心配していたのはスマートフォンやタブレット、パソコンなどに中毒になってしまうことだったようです。確かにこの類の電子端末の中毒性や依存性等は、看過できない大きな問題です。近年の調査によると、平日 1 日あたりのインターネットの利用時間は、10 歳以上の小学生が 3 時間 46 分、中学生が 4 時間 42 分、高校生で 6 時間 14 分にも上り、友人とのやり取りや動画視聴、ゲームなどに多くの時間を費やしているそうです。

このような電子端末の画面を見て過ごす時間を「スクリーンタイム」と呼びますが、スクリーンタイムの時間が増えることは、体力や視力の低下など体の健康にはもちろん、心の健康にも影響があることが分かってきています。子どものスクリーンタイムと生活の満足度や心身の不満などの関連を調べたある研究では、スクリーンタイムが 1 日 1 時間までは関係が見られないものの、1 時間を越えて長くなるほど生活の満足度は下がり、心身の不満は多くなっていったそうです。

しかし、一人 1 台パソコンの活用で学習方法の幅が大きく広がったように、スマートフォンなどの電子端末も上手に使いえばよい影響があることも事実です。また、安全管理上、スマートフォンなどを持たせる必要がある場合も考えられます。我々大人には、このような電子端末が子どもに与える影響や使い方を十分考慮した上で、保護者として責任をもって管理していくことが求められているのではないかと思います。機会を見てご家庭でも話し合ってみてください。

## 10月の予定 [全学年用]

日	曜	行事予定
1	火	都民の日 学校閉庁日
2	水	すすく
3	木	朝学習
4	金	体育朝会 避難訓練 (2次避難) 委員会
5	土	
6	日	
7	月	全校朝会 3組入浴学習 3組那須宿泊学習説明会 保護者会 (1,2年4時間授業 3~6年3組5時間授業)
8	火	朝読書 6年アスレチック・チャレンジ
9	水	すすく
10	木	朝読書 6年アスレチック・チャレンジ予備日
11	金	終業式 給食終 4時間授業 下校 13:05
12	土	秋季休業日始
13	日	
14	月	スポーツの日 秋季休業日終
15	火	始業式 給食始 水曜時程5時間授業 下校 14:00
16	水	すすく 4時間授業 下校 13:05
17	木	読み聞かせ たてわり班活動 安全指導
18	金	音楽朝会 4時間授業 下校 13:00
19	土	
20	日	
21	月	全校朝会 3組那須宿泊学習事前健診
22	火	すすく 2年6時間授業始 3組那須宿泊学習始 6年笑顔と学びのプロジェクト
23	水	すすく 3組那須宿泊学習終
24	木	朝学習 就学時健康診断 特別時程 下校 13:00 開校記念日 (98周年)
25	金	児童集会 クラブ
26	土	
27	日	
28	月	全校朝会
29	火	すすく 4年社会科見学
30	水	すすく
31	木	朝読書

